

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.9.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

29:15 あなたがたは、「主は私たちのために、バビロンでも預言者を起こされた。」と言っているが、

29:16 まことに、主は、ダビデの王座に着いている王と、この町に住んでいるすべての民と、捕囚としてあなたがたといっしょに出て行かなかったあなたがたの兄弟について、こう仰せられる。

29:17 万軍の主はこう仰せられる。「見よ。わたしは彼らの中に、剣とききんと疫病を送り、彼らを悪くて食べられない割れたいちじくのようにする。

29:18 わたしは剣とききんと疫病で彼らを追い、彼らを、地のすべての王国のおののきとし、わたしが彼らを追い散らしたすべての国の間で、のろいとし、恐怖とし、あざけりとし、そしりとする。

29:19 彼らがわたしのことばを聞かなかったからだ。・・・主の御告げ。・・・わたしが彼らにわたしのしもべである預言者たちを早くからたびたび送ったのに、あなたがたが聞かなかったからだ。・・・主の御告げ。・・・

29:20 わたしがエルサレムからバビロンへ送ったすべての捕囚の民よ。主のことばを聞け。」

29:21 イスラエルの神、万軍の主は、わたしの名によってあなたがたに偽りを預言している者であるコラヤの子アハブと、マアセヤの子ゼデキヤについて、こう仰せられる。「見よ。わたしは彼らを、バビロンの王ネブカデレザルの手に渡す。彼はあなたがたの目の前で、彼らを打ち殺す。

29:22 バビロンにいるユダの捕囚の民はみな、

のろうときに彼らの名を使い、『主がおまえをバビロンの王が火で焼いたゼデキヤやアハブのようにされるように。』と言うようになる。

29:23 それは、彼らがイスラエルのうちで、恥ずべきことを行ない、隣人の妻たちと姦通し、わたしの命じもしなかった偽りのことばをわたしの名によって語ったからである。わたしはそれを知っており、その証人である。・・・主の御告げ。・・・」

ユダヤ人たちは神様に背いたゆえに、敵国から守っていただけなくなり、その結果滅ぼされてバビロンに連れていかれました。捕囚となったのです。しかし、それで終わりではありませんでした。その後にもまだ選択肢があったのです。

それは支配者となったバビロンの王に従うようにということです。それはユダヤ人にとっては屈辱でしょう。しかしそれもまた神様の御心であり、そのようにしてユダヤ人を教育訓練しようとしたようです。

しかし「コラヤの子アハブと、マアセヤの子ゼデキヤ」は、それとは違った預言をしたのです。「バビロンの王に仕えることはない。」と言うのです。主は彼らを明確の否定なさいました。

ユダヤ人たちは、自らの罪によってそのさばきを負いましたが、その後も主に従う道と従わない道がありました。このように、私たちも自分で蒔いた種のような出来事を負うことがあります。その時も、楽観的な考えでやり過ごそうとするのではなく、そこから主の御心に従って生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 火曜

エレミヤ

29:24 あなたはネヘラム人シエマヤに次のように言わなければならない。

29:25 「イスラエルの神、万軍の主は、次のように仰せられる。あなたは、あなたの名によって、エルサレムにいるすべての民と、マアセヤの子、祭司ゼパニヤ、および、すべての祭司に次のような手紙を送った。

29:26 『主は、祭司エホヤダの代わりに、あなたを祭司とされましたが、それは、あなたを主の宮の監督者に任じて、すべて狂って預言をする者に備え、そういう者に足かせや、首かせをはめるためでした。

29:27 それなのに、なぜ、今あなたは、あなたがたに預言しているアナトテ人エレミヤを責めないのですか。

29:28 それで、彼はバビロンの私たちのところに使いをよこして、それは長く続く。家を建てて住みつき、畑を作ってその実を食べなさいと、言わせたのです。』」

29:29 ・・祭司ゼパニヤがこの手紙を預言者エレミヤに読んで聞かせたとき、

29:30 エレミヤに次のような主のことばがあった。・・

29:31 「すべての捕囚の民に言い送れ。主はネヘラム人シエマヤにこう仰せられる。わたしはシエマヤを遣わさなかったのに、シエマヤがあなたがたに預言し、あなたがたを偽りに抛り頼ませた。

29:32 それゆえ、主はこう仰せられる。『見よ。わたしはネヘラム人シエマヤと、その子孫とを罰する。彼に属する者で、だれもこの民の中に住んで、わたしがわたしの民に行なおうとしている良いことを見る者はいな



い。・・主の御告げ。・・彼が主に対する
反逆をそそのかしたからである。』」

主の御心を伝えるエレミヤに敵がいました。シエマヤというにせ預言者です。彼は人々が喜ぶことを語り、危機感を与えたエレミヤを責めるように手紙さえも送りました。

人の歓心を買おうとするなら、このような間違いに陥ります。逆に主の御心を行うならば、反対者の妨害に会うことがあるのです。その最後はどうなるかが、32節にある答えです。主が「罰する」のです。

人を恐れず、また人の歓心を買うことをせず、ただ主の御心を行いましょう。一時は不利になったようでも、最後は主の祝福と回復に与ります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 水曜

エレミヤ

30:1 主からエレミヤにあったみことばは、次のとおりである。

30:2 イスラエルの神、主はこう仰せられる。「わたしがあなたに語ったことばをみな、書物に書きしるせ。

30:3 見よ。その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、わたしは、わたしの民イスラエルとユダの捕われ人を帰らせると、主は言う。わたしは彼らをその先祖たちに与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。」

30:4 主がイスラエルとユダについて語られたことばは次のとおりである。

30:5 まことに主はこう仰せられる。「おのきの声を、われわれは聞いた。恐怖があつて平安はない。

30:6 男が子を産めるか、さあ、尋ねてみよ。わたしが見るのに、なぜ、男がみな、産婦のように腰に手を当てているのか。なぜ、みな顔が青く変わっているのか。

30:7 ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。

30:8 その日になると、・・万軍の主の御告げ。・・わたしは彼らの首のくびきを砕き、彼らのなわめを解く。他国人は二度と彼らを奴隷にしない。

30:9 彼らは彼らの神、主と、わたしが彼らのために立てる彼らの王ダビデに仕えよう。

30:10 わたしのしもべヤコブよ。恐れるな。・・主の御告げ。・・イスラエルよ。おののくな。見よ。わたしが、あなたを遠くから、あなたの子孫を捕囚の地から、救うからだ。ヤコブは帰って来て、平穩に安らかに生



き、おびえさせる者はだれもない。

30:11 わたしがあなたとともにいて、・・主の御告げ。・・あなたを救うからだ。わたしは、あなたを散らした先のすべての国々を滅ぼし尽くすからだ。しかし、わたしはあなたを滅ぼし尽くさない。公義によって、あなたを懲らしめ、あなたを罰せずにおくことは決してないが。」

主はただ怒りだけで罰するお方ではありません。「わたしは、わたしの民イスラエルとユダの捕われ人を帰らせる」とあるように、あわれみの愛を持ったお方です。これまで、敵の王に仕えるようにと命じた主ですが、このようにその先をも見据えたことなのです。

主に従わないことで、自ら困難を招くようなこともあるかもしれません。そのような時も、主は変わらず愛の主です。従いましょう。主からのさばきのような時でさえ、主に回復があることを知って、主に望みを託しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30:12 まことに主はこう仰せられる。「あなたの傷はいやしにくく、あなたの打ち傷は痛んでいる。

30:13 あなたの訴えを弁護する者もなく、はれものに薬をつけて、あなたをいやす者もない。

30:14 あなたの恋人はみな、あなたを忘れ、あなたを尋ねようともしない。わたしが、敵を打つようにあなたを打ち、ひどい懲らしめをしたからだ。あなたの咎が大きく、あなたの罪が重いために。

30:15 なぜ、あなたは自分の傷のために叫ぶのか。あなたの痛みは直らないのか。あなたの咎が大きく、あなたの罪が重いために、わたしはこれらの事を、あなたにしたのだ。

30:16 しかし、あなたを食う者はみな、かえって食われ、あなたの敵はみな、とりこになって行き、あなたから略奪した者は、略奪され、あなたをかすめ奪った者は、わたしがみな獲物として与える。

30:17 わたしがあなたの傷を直し、あなたの打ち傷をいやすからだ。・・主の御告げ。・・あなたが、捨てられた女、だれも尋ねて来ないシオン、と呼ばれたからだ。」

30:18 主はこう仰せられる。「見よ。わたしはヤコブの天幕の捕われ人を帰らせ、その住まいをあわれもう。町はその廃墟の上に建て直され、宮殿は、その定められている所に建つ。

30:19 彼らの中から、感謝と、喜び笑う声がわき出る。わたしは人をふやして減らさず、彼らを尊くして、軽んじられないようにする。

30:20 その子たちは昔のようになり、その会

衆はわたしの前で堅く立てられる。わたしはこれを圧迫する者をみな罰する。

30:21 その権力者は、彼らのうちのひとり、その支配者はその中から出る。わたしは彼を近づけ、彼はわたしに近づく。わたしに近づくためにいのちをかける者は、いったいだれなのか。・・主の御告げ。・・

30:22 あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」

30:23 見よ。主の暴風、・・憤り。・・吹きつける暴風が起り、悪者の頭上にうずを巻く。

30:24 主の燃える怒りは、御心の思うところを行なつて、成し遂げるまで去ることはない。終わりの日に、あなたがたはそれを悟ろう。

主から罰せられたイスラエルの民でしたが、主の愛は変わりません。イスラエルを苦しめた者を、主は罰してくださいます。また「わたしがあなたの傷を直し、あなたの打ち傷をいやす」と、主は約束してくださいます。

またイスラエル（ここではヤコブと表現）を回復してくださると”というようにです。主のこらしめや試練にあっている人は、このような主の回復を見せていただきましょう。21節にある「その権力者」とは、メシヤ預言です。私たちもこのメシヤであるイエス様につく者として、回復のために「命をかける」者として、希望の使者とされましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



31:1 「その時、主の御告げ。わたしはイスラエルのすべての部族の神となり、彼らはわたしの民となる。」
31:2 主はこう仰せられる。「剣を免れて生き残った民は荒野で恵みを得た。イスラエルよ、出て行って休みを得よ。」
31:3 主は遠くから、私に現われた。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。」
31:4 おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。再びあなたはタンバリンで身を飾り、喜び笑う者たちの踊りの輪に出て行こう。
31:5 再びあなたはサマリヤの山々にぶどう畑を作り、植える者たちは植えて、その実を食べることができる。
31:6 エフライムの山では見張る者たちが、『さあ、シオンに上って、私たちの神、主のもとに行こう。』と呼ばわる日が来るからだ。」
31:7 まことに主はこう仰せられる。「ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらのために叫べ。告げ知らせ、賛美して、言え。『主よ。あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』」
31:8 見よ。わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。その中にはめいしいも足なえも、妊婦も産婦も共にいる。彼らは大集団をなして、ここに帰る。
31:9 彼らは泣きながらやって来る。わたしは彼らを、慰めながら連れ戻す。わたしは彼らを、水の流れのほとりに導き、彼らは平らな

道を歩いて、つまづかない。わたしはイスラエルの父となろう。エフライムはわたしの長子だから。」

イスラエル回復の預言です。「荒野で恵みを得た」とは、出エジプトのときの恵みです。過去の主のみわざを思い出して、私たちが心に平安をいただきましょう。そのときの恵みは今も変わりません。なぜなら、主は「永遠の愛をもって」愛し続けてくださるからです。

「タンバリンで身を飾り」「ぶどう畑を」というように、主の回復のビジョンは明確なものです。それゆえ私たちに与えられている回復の約束も明確です。そのような主の恵みを視覚的にもイメージしながら、その日を望みつつ一歩でも前へ進みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶12日 土曜

エレミヤ

31:10 諸国の民よ。主のこばを聞け。遠くの島々に告げ知らせて言え。「イスラエルを散らした者がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守る。」と。

31:11 主はヤコブを贖い、ヤコブより強い者の手から、これを買戻したからだ。

31:12 彼らは来て、シオンの丘で喜び歌い、穀物と新しいぶどう酒とオリーブ油と、羊の子、牛の子とに対する主の恵みに喜び輝く。彼らのたましいは潤った園のようになり、もう再び、しばむことはない。

31:13 そのとき、若い女は踊って楽しみ、若い男も年寄りも共に楽しむ。「わたしは彼らの悲しみを喜びに変え、彼らの憂いを慰め、楽しませる。

31:14 また祭司のたましいを髓で飽かせ、わたしの民は、わたしの恵みに満ち足りる。・・・主の御告げ。・・・」

31:15 主はこう仰せられる。「聞け。ラマで聞こえる。苦しみの嘆きと泣き声。ラケルがその子らのために泣いている。慰められることを拒んで。子らがなくなったので、その子らのために泣いている。」

31:16 主はこう仰せられる。「あなたの泣く声をとどめ、目の涙をとどめよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。・・・主の御告げ。・・・彼らは敵の国から帰って来る。

31:17 あなたの将来には望みがある。・・・主の御告げ。・・・あなたの子らは自分の国に帰って来る。

31:18 わたしは、エフライムが嘆いているのを確かに聞いた。『あなたが私を懲らしめられたので、くびきに慣れない子牛のように、



私は懲らしめを受けました。私を帰らせてください。そうすれば、帰ります。主よ。あなたは私の神だからです。

31:19 私は、そむいたあとで、悔い、悟って後、ももを打ちました。私は恥を見、はずかしめを受けました。私の若いころのそしりを負っているからです。』と。

31:20 エフライムは、わたしの大事な子なのだろうか。それとも、喜びの子なのだろうか。わたしは彼のことを語るたびに、いつも必ず彼のことを思い出す。それゆえ、わたしのはらわたは彼のためにわななき、わたしは彼をあわれまずにはいられない。・・・主の御告げ。・・・

「諸国の民よ。」とあります。主の回復は単に心理的なことではなく、世界にも知らしめられるような明確なできごとです。私たちにもたらしてくださる回復も、また同じように明確であることを知りましょう。周囲の人々にも分かるような画期的なことを主はしてくださるでしょう。

「ラケルがその子らのために泣いている。」というのは、イスラエルの預言であると同時に、イエス様に関するできごとでもあります。ヘロデ王がメシヤを殺そうとして、2歳以下の男子をみな殺させ出来事です。しかしその預言にもまた、

「あなたの労苦には報いがある」と、希望が約束されています。私たちが信仰によって回復するときには、イエス様のみわざに与ることができるという希望を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



のだ。

31:21 あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ。帰れ。これら、あなたの町々に帰れ。

31:22 裏切り娘よ。いつまで迷い歩くのか。主は、この国に、一つの新しい事を創造される。ひとりの女がひとりの男を抱こう。」

31:23 イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「わたしが彼らの捕われ人を帰らせるとき、彼らは再び次のことばを、ユダの国とその町々で語ろう。『義の住みか、聖なる山よ。主があなたを祝福されるように。』」

31:24 ユダと、そのすべての町の者は、そこに住み、農夫も、群れを連れて旅する者も、そこに住む。

31:25 わたしが疲れたたましいを潤し、すべてのしぼんだたましいを満たすからだ。

31:26 ・ ・ ・ここで、私は目ざめて、見渡した。私の眠りはこちよかった。 ・ ・ ・

31:27 見よ。その日が来る。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家に、人間の種と家畜の種を蒔く。

31:28 かつてわたしが、引き抜き、引き倒し、こわし、滅ぼし、わざわいを与えようと、彼らを見張っていたように、今度は、彼らを立て直し、また植えるために見守ろう。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・

31:29 その日には、彼らはもう、『父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く。』とは言わない。

31:30 人はそれぞれ自分の咎のために死ぬ。だれでも、酸いぶどうを食べる者は歯が浮く

回復の約束、その具体的な描写が続きます。そこには「義の住みか」というような、正義がもたらされます。不正や不公平に悩まされることはもうないのです。また「疲れたたましいを潤し」とあるように、主の癒しと慰れがあります。また満たしの祝福があります。そして「人間の種と家畜の種」とあるように、主の繁殖と繁栄があります。また「父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く。」というように、理不尽な親子関係の影響はありません。

これらは私たちの回復にも必要なものです。イスラエルのように、自分自身から蒔いた種のような苦難もあるかもしれません。それでも主は、回復の約束をくださるのですから、その主のあわれみに信頼して、希望を持ち、主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

